

第 35 回日本包装専士会定期総会

議案書

第一号議案: 2023 年度活動実績

第二号議案: 2024 年度活動計画

第三号議案: 2024 年度役員選出

日本包装専士会

2024 年 5 月 22 日(水)

15:00—16:00 (14:30 受付開始)

会場 : 岡田紙業株式会社 7 階会議室

第一号議案:2023 年度活動実績

2023 年度は新型コロナ感染の対応も落ち着き、通常の活動を行なうべく準備と始動への足がかりとなった。当会が従来開催してきた「専士会包装技術セミナー(旧アカデミー)」が4年連続して開催できなかったが、新しいコンセプトを掲げ、専士会メンバーとの対話を重視した企画の包装技術セミナーと Packaging-Workshop を開催することができた。また、理事会及び各委員会の活動もリモート併用のハイブリッド開催へ移行し、より参加しやすい環境を整え、関西ミニセミナーの開催や展示会・講演会等に向けて情報発信を行なった。一方ではホームページの改善が一段落し、一般の方や専士会員により使いやすい、わかりやすい表現になり、内容が充実してきた。資格取得後の初年度の入会金、年会費の免除も定着し、会員増強や新入会員とのコミュニケーションなどに取り組んだ。

(1)第 34 回定期総会開催 2023 年 5 月 24 日(水)

3議案は賛成多数で可決成立。

(2)理事会開催(2023 年度)

第 1 回 7 月 18 日(火)

新型コロナの5類感染症への移行や会合の制限などが緩和され、当理事会もリアル会合、または Hybrid 会合で進めていくこととなった。ホームページ改修の終了報告。

第 2 回 9 月 19 日(火)

理事会／委員会を Hybrid で開催した。中央区民会館をリアル会場とし、会場出席できない理事には Web にて実施。

第 3 回 11 月 21 日(火)

引き続き Hybrid で開催。Web 参加者が議論に入りやすいようにスピーカー／フォンを専士会備品として購入することを決定。包装界の賀詞交歓会が1月9日に椿山荘にて開催されることを報告。

第 4 回 1 月 25 日(木)

第一回専士会包装技術セミナーを踏まえて第二回セミナー(のちに Packaging-Workshop に改称)を企画。募集は専士会 HP の一斉配信で連絡。総会までの日程確認と資料の準備を委員会へ依頼。

第 5 回 3 月 18 日(月)

総会資料(決算、予算、活動報告、来期計画)の議論と理事会承認。

(3)会計監査実施 2024 年 4 月 16 日(火) 会計監査実施。

2023 年度の会計監査を(株)タケトモの平野監事に依頼し、承認終了。

(4)委員会活動実績(2023 年度)

【展示委員会】

TOKYO PACK 2024 は、2024 年 10 月 23-25 日 東京ビッグサイト東ホールで開催予定。JPI からは包装4団体にテクニカルセミナー開催(初心者向け包装セミナー)の要望あり。各包装団体所属者から講師を選出し、各包装団体毎に4講師、4テーマを担当。1テーマ45分、テーマの重複は団体間で調整していく。テーマ例は 軟包装、食品衛生、食品安全、紙器、物流 2024 年問題、

Eコマース、流通、輸送包装、法規制など。新人から中堅層をターゲットとしたセミナーを無料で開催し、包装に感心を持ってもらう狙いがある。

【セミナー委員会】

活動を専士会内に向けた形に変更し、専士会会員サービスに向けたセミナー実施を検討、議論し、開催の目的を「仲間づくり」「専門性」に特化した組織の構築、及び、専門分野を議論することを通して専士会の独自性／差別性を模索することとした。

- ① 第1回包装技術セミナー開催 2023年10月6日15時～ 中央区民館 リアル参加限定
講師：島田賢一氏：未来包装研究委員会セミナー
「より良い包装未来の姿と生活者起点の協業・協働 について～欧米動向を参考に～」
対象は近年(3年程度)の新規専士会員に対して対面での包装専士会活動についての説明会を実施、参加者が業務として参加し易いように15時開催。交流会も必須開催。
- ② 第1回 Packaging-Workshop 開催 2024年2月9日15時～ 京橋プラザ区民館 リアル参加限定
ファシリテーター：及川英之氏
テーマ：「PET ボトル及びプラスチックリサイクルを推進するには包装業界として今できる事はなに？」

【情報委員会】

(公社)日本包装技術協会発行「包装技術」に毎月の専士会コーナーに各委員会輪番で催事等を記事にして掲載。空きがある場合は専士会の紹介を掲載した。

【未来包装研究委員会】

- ・日本包装専士会の特別理事であり、未来包装研究委員会のオブザーバーである有田先生が、WPO 生涯包装功労賞を受賞されたことを受け、特別講演を企画した。(公社)日本包装技術協会主催、日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、技術士包装物流会、日本包装学会共催の形にて、7月6日に「包装界の未来に対する提言と今後への期待」と題して、特別講演会・懇親会(会費制)を開催した。
- ・8月25日 情報共有会を開催。(interpack2023 視察報告)
- ・JPI より TOKYO PACK 2024 にて学生とのコラボセミナー企画を考えるよう打診あり。過去2回の実績を踏まえて検討していく。(12月14日 日本女子大学 北澤准教授訪問、1月24日 早稲田大学 松方教授・加茂客員教授訪問)
- ・12月12日 情報共有会を開催。(TOKYO PACK 2024 に向けて、他)
- ・2月20日 日本包装学会 第50回シンポジウムにて「紙素材を利用した容器包装」を講演。
- ・2月27日 国立環境研究所訪問

【情報システム委員会】

- ・ホームページ改訂が4月に一段落した。
お知らせページの表示が10件しかなかったが、年毎のタブを作成し過去の情報を閲覧できるようにした。
議事録の日付がTOPページとMORE(すべて)ページを開催日に統一した。
会員専用ページに資料を閲覧できるようにした。
- ・外郭団体主催の講演会をお知らせに案内。情報発信として一斉配信が有効なので、メールアドレス及び郵送先を更新した。専士会包装技術セミナーをはじめ、包装界新年会、包装管理士会、関西セミナー、技術士包装物流会受験セミナーなど一斉配信で専士会員全員に情報発信。

・ホームページの閲覧状況を Google アナリティクスで分析。

2023年4～10月の総アクセス数 1,466 件(内 91.6%は日本からのアクセス)

2023年4～2024年1月の総アクセス数 2,317 件(内 83%は日本からのアクセス)

【関西委員会】

①関西理事会開催

- ・2023年度第1回理事会 2023年5月25日(木) Hybrid (大阪市立青少年センター)
- ・2023年度第2回理事会 2023年7月20日(木) Hybrid (大阪市立青少年センター)
- ・2023年度第3回理事会 2023年11月10日(金) Hybrid (大阪市立青少年センター)
- ・2023年度第4回理事会 2024年2月20日(火) Hybrid (大阪市立青少年センター)
- ・第5回決算理事会(2023年度)2024年3月26日(火) Hybrid (大阪市立青少年センター)

②包装専士会関西ミニセミナー (会員無料セミナー)

- ・第1回5月開催 5月25日(木) Hybrid 講師:今田克己氏「フィルムクリーニング」
- ・第2回7月開催 7月20日(木) Hybrid 講師:平田達也氏「軟包装1」
- ・第3回9月開催 9月22日(金) 見学会「太陽ファルマテック(株)高槻工場」
- ・第4回11月開催 11月10日(金) Hybrid 講師:平田達也氏「軟包装2」
- ・第5回2月開催 2月20日(火) Hybrid 講師:岡 美奈氏「FSSC22000 規格要求事項」

※Hybrid で開催する場合、東京の役員／理事、および本年度新入会員 13 名にも案内した。

③ 他の包装団体との連動 (交流)

(公社)日本包装技術協会、包装管理士会関西支部、技術士包装物流会関西支部、近畿包装研究会等、包装団体に関する活動に参画。

2023年度(令和5年度)決算報告書

期間 2023年4月1日～2024年3月31日

	(単位 円) 2023年度予算	(単位 円) 2023年度決算
1 前年度繰越金	1,623,017	1,623,017
収入の部		
2 総会、懇親会費	0	0
3 入会金	6,000 (2名)	3,000 (14名中1名)
4 年会費	590,000 (118名)	550,000 (110名)
5 包装技術セミナー参加費	0	0
6 利子	0	14
7 その他、雑収入	0	50,000
8 小計	596,000	603,014
9 総計	2,219,017	2,226,031
支出の部		
1 総会、懇親会費	10,000	8,800
2 関西委員会 活動費	50,000	50,330
3 包装技術セミナー費	0	9,720
4 展示会(東京パック他)費用	0	0
5 2030包装の未来予測プロジェクト活動費	20,000	2,720
6 情報処理費(HP改訂、保守管理費)	160,000	205,700
7 通信費	15,000	21,738
8 交通費	70,000	50,500
9 事務費(会場費)	10,000	14,200
10 事務委託費(会計、会計監査、総会、他)	70,000	66,000
11 諸経費(手数料、事務用品、新年会分担)	20,000	76,920
12 予備費	171,000	0
13 小計	596,000	506,628
当年度繰越金	1,623,017	1,719,403

2024年4月16日(火)(株)タケトモにて行われた会計監査に立会い、
詳細に監査したところ、正確に処理されていることを確認し、これを承認しました。

監事 平野 雅裕



2024. 4. 16

第二号議案:2024 年度活動計画

2023 年度はセミナー委員会主催で専士会 Packaging-Workshop の新しい企画がスタートし、専士会内で包装に関する議論ができる環境を整えた。海外動向、国内新技術などの情報共有はもとより、課題解決に向かって相互相談的な位置づけとなる。関西委員会もハイブリッドでの関西セミナーが定着し、見学会の実施など専士会員相互活動を継続している。本年は東京パック2024の開催年にあたり、講演、展示等を通じて情報発信のレベルアップをはかる。学生とのコラボセミナーも前回までと同様に進める。ホームページの改善も一段落したが、情報内容の充実も含めて、専士会トータルでの情報発信とコミュニケーションおよび新規会員の増強に注力する。

【展示委員会】

10 月開催の TOKYO PACK 2024 において、専士会関係の準備。

- 1)テクニカルセミナーの講師 4 名の選任。
- 2) 専士会展示ブースの設営・運営。展示パネルの手配。

【セミナー委員会】

- ・四半期に 1 回の専士会 Packaging-Workshop を開催する。
- ・専士会内に議題・題材にしたい案件を募集する。
- ・当該事項に伴うミーティングの開催、本件の情報発信の方法を検討する。
- ・他の業界団体とのコラボ開催案件を模索する。東京パック以外の展示会に参加の可能性を検討する。

【情報委員会】

- ・(公社)日本包装技術協会発行「包装技術」内の日本包装専士会PRページ執筆とりまとめ。展示、講演を通じて「日本包装専士会／委員会の活動紹介」と「日本包装専士会の PR」を進める。
- ・現在の体制を考えると会報の発行については断念し、JPI「包装技術」への投稿に注力する。

【未来包装研究委員会】

① TOKYO PACK 2024 での成果発表。

- ・未来包装研究委員会活動の成果物発表を行なう。(パネル 4~6 枚のイメージ、展示委員会と調整する)
- ・学生とのコラボセミナーを実施する。

JPI 事前打合済、Z 世代など若者とのパッケージのサステナビリティ未来像などの対話。

② 継続事項「あるべき未来とパッケージ」についての調査・分析・提案・意見交換 (月例会)

【情報システム委員会】

- ・主に「お知らせ」の更新作業を実施した。
理事の変更があった場合の連絡先の更新と、一斉メール配信先の更新。
- ・持ち越し課題として「理事への連絡手段として LINE を追加」「総会申し込みのオンライン化」を理事会で検討を要請する。

保守費用:@7,000/月×12 か月=¥84,000-

その他、改訂作業が必要になった場合は内容と見積を順次提示する。

【関西委員会】

- ① 関西委員会理事会・対面／Web のハイブリッド方式を考慮した開催とする。(Zoom)
 - ・開催回数と日程を決定。場所は大阪市立青少年センター(KOKO PLAZA)を主に設定予定。
2024 年度第 1 回 5月23日(木)、第2回以降、7月、9月、11月、2025 年2月のうち3回開催。
見学会開催時は理事会を開催しない。
- ② 専士会関西ミニセミナー（会員無料）
 - ・関西在住の専士会会員を対象に4回／年の包装関連セミナーと見学会を1回実施する。
 - ・対面／Web のハイブリッド方式を考慮した開催とする。(Zoom)
 - ・対面の場合、受講対象者は理事含めて約30名。連絡はメールにて行う。
 - ・Web(ハイブリッド)の場合は本部理事会メンバー、昨年度出席実績のある会員および昨年度修了の新入会員に案内する。
 - ・講師は会員が行うが、外部講師にも依頼する。
(新技術、基礎技術、展示会報告、業界動向、生活者動向、国際動向、官公庁動向など)

2024 年度第 1 回関西ミニセミナーは対面またはハイブリッド(Zoom)にて開催予定。
実施日時 2024年5月23日(木) 大阪市立青少年センター

2024年度（令和6年度）予算案

期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(単位 円)

1	前年度繰越金		1,719,403
収入の部			
2	総会、懇親会費	4,000×00名	0
3	入会金	3,000×2名	6,000
4	年会費	5,000×116名	580,000
5	包装技術セミナー参加費		0
6	利子		0
7	その他（雑収入）		0
8		小計	586,000
9	総計		2,305,403

支出の部

1	総会費		0
2	関西委員会 活動補助費		100,000
3	包装技術セミナー費(Packaging-Workshop含み)		50,000
4	展示会（東京バック等）費用		100,000
5	2030包装の未来予測プロジェクト 活動費		40,000
6	情報処理費（HP改訂、保守管理費）		185,000
7	通信費		20,000
8	交通費		60,000
9	事務費（会場費）		15,000
10	事務委託費（会計、会計監査、総会、他）		70,000
11	諸経費（手数料、事務用品、新年会分担）		65,000
12	繰越金補填		△ 119,000
13		小計	586,000
14	今年度繰越金		1,719,403
15	総計		2,305,403

2024年3月31日
事務局 渡辺作成

三号議案:役員選出(2024年度)

役職	区分	氏名	コース	期	所 属
会長	再任	嶋 雅文	包装材料	18	
副会長	再任	下村 充	輸送包装	22	王子コンテナ株式会社
	再任	平田 達也	包装材料	24	株式会社メイワボックス
	再任	及川 英之	包装材料	25	味の素AGF株式会社
	再任	島田 賢一	食品包装	14	三菱商事パッケージング株式会社
事務局長	再任	今田 克己	包装材料	17	今田包装技術企画
事務局次長	再任	渡辺 茂紀	医薬品包装	15	株式会社協進印刷
理事	再任	小林 浩一	輸送包装	21	
	再任	中村 圭介	輸送包装	28	カネパッケージ株式会社
	留任	高橋 裕美	輸送包装	33	日本化工機材株式会社
	留任	高畑 幸典	包装材料	28	株式会社サガシキ
	再任	野田 貴治	包装材料	30	日本製紙株式会社
	留任	竹内 公生	食品包装	10	東洋製罐グループホールディングス株式会社
	留任	成田 淳一	食品包装	18	アールエム東セロ株式会社
	留任	小林 義浩	食品包装	22	味の素株式会社
	留任	中山 勉伸	食品包装	22	アールエム東セロ株式会社
	再任	橋本 香奈	食品包装	28	缶詰技術研究会
	留任	北島 誠之	食品包装	30	出光ユニテック株式会社
	再任	崎尾 宇伸	食品包装	34	株式会社タチバナインダストリーズ
	再任	友滝 謙輔	食品包装	34	廣川ホライズン株式会社
関西理事	留任	山本 高之	包装材料	23	岡田紙業株式会社
	再任	岡 美奈	食品包装	22	
	再任	堤 正一	医薬品包装	16	岡田紙業株式会社
	留任	清水 太一	医薬品包装	18	
	留任	小谷 聖	医薬品包装	30	株式会社細川洋行
特別理事	留任	有田 俊雄			有田技術士事務所
監事	留任	平野 雅裕	医薬品包装	18	株式会社タケトモ
	再任	菅 亮市	医薬品包装	19	岡田紙業株式会社
顧問	再任	安原 明世	システム	3	岡田紙業株式会社

以上